



## 私のおきにいり ～生きものマッピング（印刷用）

### ■ 概要

海の活動（海辺の観察やスノーケリングなど）で、参加者それぞれが気に入った生きものを探して観察をし、カードにスケッチをします。その生きものカードを「環境模式図」のなかに配置して、共同作業で大きな絵を作ります。完成した絵をもとに、それぞれの生きものが周囲の環境とどのように関わっているか、生きもの同士にどのようなつながりがあるかを考えます。

### ■ 学べること

- 自然観察の体験を振り返ることができます。
- 気に入った生きものを通して、生態系への理解を深めます。
- 生息場所など生きもの暮らしを確認することができます。
- 「生きものどうしのつながり」「生きものと自分とのつながり」を考えることができます。

### ■ 準備するもの

- ◆ 「私のおきにいり」カード…「使用する教材」からダウンロード。白紙のコピー用紙などでもかまいません。
- ◆ 色鉛筆、ペン…生きものの絵を描くときに使います。
- ◆ ハサミ…描いた絵を切り抜きます。
- ◆ のり、テープ…絵を環境模式図に貼るときに使います。
- ◆ 「環境模式図」…「使用する教材」からダウンロード。
- ◆ 模造紙…「環境模式図」を参考に、大きな環境模式図を描きます。
- ◆ 紙テープ…つながりを示すときに使います。

### ■ 実施の仕方

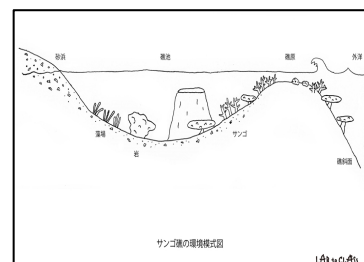
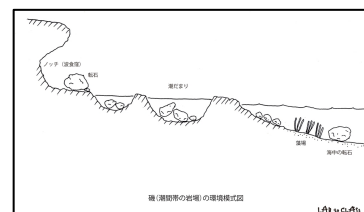
#### 1. 海で気に入った生きものを探し、観察をしてスケッチします。

海辺の観察やスノーケリングをして、気に入った生きものをスケッチします。スケッチが苦手だったり、泳ぎながら絵を描くのが難しかったりする場合は、簡単に特徴をメモしておきましょう。

例：「海にはいろいろな生きものがいます。変わった生きものはいるかな？ みなさんはどのような生きものが好きかな？ 自分が気に入った生きものを選んで、よく観察してみましょ。あとで色を付けて絵を完成させます。図鑑で調べられるように、しっかり特徴を描いてください。どのようなところで、何をしているのかも観察してくださいね」



◎実施場所：海岸や海中、室内  
◎所要時間：60分～90分（室内）



◆ポイント！  
環境模式図例を参考に、観察した場所の地形や環境を模式的に描きましょう。



\*注！  
「水中ノート」など、防水のスケッチボードを用意するとスノーケリングなど、海中での活動でもスケッチが可能になります。

\*ポイント！  
参加者がどのような生き物を観察しているのかを指導者が写真などで記録しておくといでしょう。





## 2. 室内で「私のおきにいり」カードを完成させます。

自分で観察したスケッチをもとに、色鉛筆やペンを使っておきにいりの生きものの絵を描きます。図鑑などを参考にして、細かい特徴なども書き加えましょう。

カードの「とくちょうは？」「どんなところにいた？」「なにしてた？」の項目も、忘れずに記入しましょう。



## 3. 完成した「私のおきにいり」カードを紹介しましょう。

一人一人が「どのようなところが気に入ったのか」を発表します。参加者同士で質問をしあうと、さらに学習が深まります。

## 4. おきにいりの生きものはどこにいましたか？

「使用する教材」からダウンロードした「環境模式図」を参考に、模造紙に大きく海の断面図を描きます。指導者があらかじめ描いておいてもいいですし、参加者がその場で描いてもよいでしょう。

その大きな海の絵のなかに参加者が描いた「私のおきにいり」カードをそれぞれが配置していきます。

例：「みなさんのお気に入りの生きものは、どのようなところで見られましたか？ 海の底ですか？ 岩のすき間ですか？ それとも海のなかを泳いでいましたか？ 海で観察したときのことを思い出しながら、大きな絵のなかに貼ってください」

**\*ポイント！**

カードのまま配置してもよいですが、切り抜いてのりなどで貼ってもよいでしょう。



**\*ポイント！**

観察対象になっていない生き物のカードをあらかじめ用意しておくともよいでしょう。

## 4. 「つながり」をさがしてラインで結びます。

例：「みなさんのお気に入りの生きものは、他の生きものや周りのものとどのようなつながりがありますか？ 例えば、食べたり食べられたりとか、隠れて暮らすのによい場所だったりとか…。さまざまなつながりを考えてみましょう」

**\*ポイント！**

紙テープやリボンで結ぶときれいでやり直しもできます。

## 5. 自分たちとのつながりは？

最後に指導者が用意しておいた「人」のカードを追加し、自分たちと海の生きものとのつながりを考えます。

例：「海の生きものたちと自分は何かつながりがありますか？ ここに描いてある生きものを食べたことはないでしょうか？ 食べる以外にも何か関わりはありませんか？ 自分が選んだお気に入りの生きものと“自分”には、何かつながりがありますか？」

### \*さまざまな「つながり」例

- ・食物連鎖
- ・共生関係
- ・競争関係
- ・擬態





- ・棲み場所
- ・隠れ場所

\*ファクトシート「サンゴⅠ 多彩なサンゴは、生きている！」「海の生きものⅢ 多様なつながり」参照

#### 6. 感じたこと気がついたことを話し合います。

例えば、サンゴ礁では「サンゴがなくなったら困るのはどの生きものですか？」と問いかけてみるとよいでしょう。

#### 7. 完成した「海の絵」を貼りましょう。

できればできあがった「海の絵（環境模式図）」を教室や施設に掲示して学習の振り返りに利用したり、学習発表会の場などで発表したりすることで、学習の成果を多くの人に伝えることができます。

